

2024年1月5日

各 位

会 社 名 株式会社ネクスグループ  
 代 表 者 名 代表取締役社長 石原 直樹  
 (スタンダード市場・コード 6634)  
 問 合 せ 先  
 役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長 齊藤 洋介  
 電 話 03-5766-9870

## 特別損失の計上及び2023年11月期通期連結業績予想修正に関するお知らせ

当社は、2023年11月期第4四半期会計期間（2023年9月1日～2023年11月30日）において、特別損失として投資有価証券の評価損を計上する見込みとなりました。また、特別損失の計上及び最近の業況を踏まえ、2023年1月18日付「2022年11月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に開示しました2023年11月期（2022年12月1日～2023年11月30日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の内容

当社が保有する投資有価証券について、減損処理を実施し、2023年11月期第4四半期会計期間において、投資有価証券評価損615百万円を特別損失として計上する予定です。

#### 2. 2023年11月期の連結業績予想

(単位：百万円未満切り捨て)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	1,467	146	165	142	5.24
今回修正予想 (B)	802	△206	△146	△645	△23.76
増減額 (B-A)	△665	△352	△311	△788	
増減率 (%)	△45.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年11月期)	2,758	427	529	806	33.95

#### 2. 公表の理由

2023年11月期連結累計期間における連結業績予想修正の主な要因は、前回発表予想に対して、Iot関連事業と暗号資産投資事業の売上高の減少、そして上記の特別損失の計上によるものです。

まず、Iot関連事業においては、新商品の5Gモデムが、キャリアのインフラ展開が想定より遅れたことにより、MVNO事業者へのサービス開始が遅れたこと、ローカル5Gにおいて基地局の性能改善などの整備が当初予定より遅れたことにより、当社グループが想定した導入が進みませんでした。

また、自動車の自己診断機能であるOBD2の接続コネクタから車の情報をリアルタイムに取得で

きる OBD2 端末は、一部の顧客サーバとの間で発生した不具合対応が影響して、新規の端末調達受注が当初想定を下回りました。これらにより、下期からの本格回復を見込んでいた Iot 関連事業は、当初見込んでいた売上高約 1,000 百万円を下回り、約 500 百万円となる見込みです。なお、これらの影響は解消しつつあり、2024 年 11 月期に影響はしないと見込んでおります。

次に、暗号資産投資事業においては、暗号資産取引における対象暗号資産の相場低迷や大幅下落及び予定していた大型取引が見送りになるなどの理由から、当初見込んでいた売上高から約 100 百万円下回っております。

以上より、前回予想に比して、売上高は 665 百万円減少し、802 百万円となる見込みとなりました。

上記の売上高の減少を見込んだことに伴い、営業利益、経常利益が前回発表時の予想を下回る見込みとなり、営業損失 206 百万円、経常損失 146 百万円を見込んでおります。

そして、親会社株主に帰属する当期純損失は、2023年11月期第2四半期会計期間において、特別利益として投資有価証券売却益134百万円はあったものの、当社の保有する投資有価証券の価額が取得価額に比べて下落しており、上記の通り特別損失615百万円を計上することにより、645百万円を見込んでおります。

以上